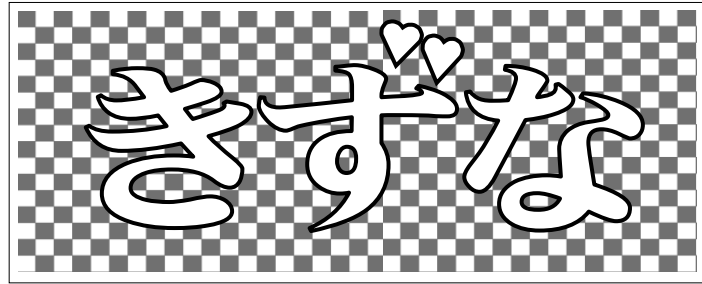


熱中症対策忘れずに

夏を思わせる暑い日が続いています。日中気温の高い時期には、屋外・屋内どちらの作業でも、熱中症対策が必要です。こまめな水分補給を心がけ、経口補水液や瞬間冷却剤を準備し、十分に注意しましょう。



発行
首都圏建設産業ユニオン
東多摩支部 教宣部
府中市若松町2-3-28
Tel:042-354-8055
発行責任者 山本 武善



おいしい料理に話はずむ



大会に向けてそれぞれ真剣に練習中

全国青年技能競技大会の出場者を決める、東京都連主催の青年技能競技大会が、八月二十日に多摩職業能力開発センター府中校にて開催されました。建設ユニオンでは、大会に向けてそれぞれ真剣に練習中。参加者の中には、道具の手入れも念が入り、元々は図面の練習

【小幡 治男・談】

雨の日が増え、シメシメした日が続いてきたと多くなってきた五月二十九日、京王線仙川駅前の『豊後高田どり酒場』にて、青年部・後継者対策委員会の合同部会を開催しました。今回の部会では、新たな青年部員の拡大を主な目的として、これまで新型コロナウイルスの影響により、中々行うことができなかった、懇親会形式での部会としたことで、初参加者を二名拡大。今後更

な青年部員の拡大を主な目的として、これまで新型コロナウイルスの影響により、中々行うことができなかった、懇親会形式での部会としたことで、初参加者を二名拡大。今後更

気合十分目指せ全国

大会本番まであと少し

だけの予定としておりましたが、大会を想定して、時間を決めての実技練習も行う人もおり、とても気合の入った準備講習会となりました。今回の講習会以外にも大会までの間に何度か準備講習会の開催を予定しています。大会当日もこの気概をそのままに、上位入賞、全国大会出場を目指し勝ち取ってもらいたいですね。

青年部・後継者対策

ひさしびりの部会兼懇親会
LINEでつながる青年部

更なる活性化に期待

雨の日が増え、シメシメした日が続いてきたと多くなってきた五月二十九日、京王線仙川駅前の『豊後高田どり酒場』にて、青年部・後継者対策委員会の合同部会を開催しました。今回の部会では、新たな青年部員の拡大を主な目的として、これまで新型コロナウイルスの影響により、中々行うことができなかった、懇親会形式での部会としたことで、初参加者を二名拡大。今後更

【釘田 真明・記】

☆ 機関紙『きずな』懸賞企画 ☆

ユニオン **NUMBERS**

◆応募方法
支部HP『お問い合わせフォーム』より『その他』にチェックし、『お問い合わせ内容』に「ナンバーズ応募」と「先月配布された機関紙に記載された抽選番号」を記載し送信願います。

◆景品引渡：所属地区の地区会議で当選機関紙と引換
◆今月の景品：『Quoカード 2,000円分』
※応募がなかった場合、翌月へ繰越となります。

114号の当選番号は、**181番** です。

応募締切は8月1日です。必ず締切までにご応募ください。景品引換は当選月から1年とします。ご案内差し上げた会議等に参加出来ず引換を行えなかった方は、改めて支部事務所までご連絡ください。

今月のあなたの抽選番号は **750番**



釘と手元に全集中

調布地区では、六月十七日に調布環境フェアに出展。今回は例年

手作り巣箱に感動ひとしお

ポスカも溢れる暑い一日

と違い、調布駅前広場での開催となりました。内容は例年通り、巣箱と植木鉢作りの木工教室に、絵馬塗り絵と住宅相談を行いました。当日は天候にとても恵まれ、真夏日の中の開催でしたが、五十名の方が訪れてくれました。

木工教室では子供達も一生懸命に釘を打ち込み、たまに手を借りながら自分で作った作品にとても喜んでいました。

強い日差しにポスカのインクがあふれるトランプもありましたが、無事に終わることができました。参加された方お疲れさまでした。

【佐藤 裕明・記】

正しい知識で安全作業

受けてよかった丸のこ講習



資料を見ながら座学の様子

六月十六日支部事務所にて、労働安全衛生法に基づき、丸のこ等取扱作業従事者講習会が、若者から年配まで総勢十五名参加のもと、石川労働安全対策部長並びに本部労働安全対策付成田書記を講師に開催しました。当日はこれまでの労働災害から、丸のこについての様々な知識、関係法令の他、丸のこの正しい取り扱いの実技講習が行われました。私たちが日常何気なく使っている丸のこも全国的にみると、多くの事故が起きていることに驚きます。

丸のこ等を使用する作業者は、正しい知識や使用方法を習得できるように、厚生労働省より講習の受講が定められて

ています。参加者の中には初めて丸のこに触る方もおり「受けてよかった」といった声もありました。

最後に考査を行い、写真入りの終了証を受け取り終了。これからは支部として年二回の開催をしていきたいと思えます。

他の支部も行っているので、そちらにも参加いただけます。多くの方に受けてもらえるように頑張ります。

【石川 幸一・記】



書記局紹介



2月末に入局しました、宮川(みやがわ)と申します。

入局からあっという間に3か月が経ちましたが、建設業界ならではの聞きなれない専門用語や制度が多く、勉強の毎日です。

まだまだ半人前にも満たないですが、少しずつ知識を身に着け、お役に立てるようにがんばっていきます。よろしくお願いします！

キーワードクイズ

日頃より機関紙『きすな』をご愛読いただき、ありがとうございます。

さて、4月号から「キーワードクイズ」を掲載しています。正解がわかったら、11月号に掲載される、問題、応募方法、当選者の発表を読んでご応募下さい。

◆7月号のヒント

				S



現場の実情募集中

皆の声が企業を変える

建設ユニオンではゼネコンやハウスメーカー等、大手企業に従事する仲間の会として『ユニパル』を組織しています。

ユニパルでは現場に従事する皆さんの声を東ね、生活や現場の改善のため組合として大手企業に交渉を行っています。

そのかきもあつて、今年四月の交渉では大林組では『今年七月から労務賃金の標準価格を約五年ぶりに見直し、10%アップする』といった回答を得る等、一つひとつは地道な活動ではありますが、一人ひとりの声が大変な力になります。

八月には、多摩地域の四支部合同の納涼会も開催しますので、ぜひこれを機会に、周りの仲間と誘い合つて、ユニパルの活動に参加してください。